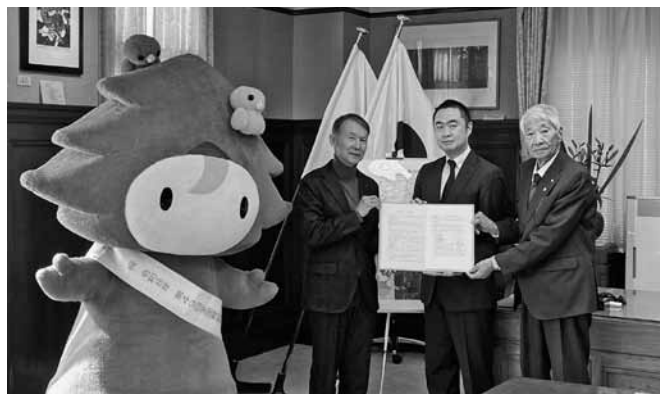


和歌山県「企業の森」事業にソフトウェア開発事業を展開する株式会社八雲ソフトウェアが参画しました。「企業の森」とは企業や労働組合などの皆さまにCSR（企業の社会的責任）や社会・環境貢献活動、また地域との交流活動の一環として、県内の森林環境保全に取り組んでいただく事業です。

11月22日(水)に和歌山県庁で行われた調印式で株式会社八雲ソフトウェア・和歌山県・有田川町の三者で「森林保全・管理協定」を締結しました。今後5年間にわたり、立石地内の山林3.24haを「八雲ソフトウェアの森」と名付け、間伐などの森林保全活動を行います。有田川町では、6社目の参画で、都市と地方の交流など地域活性化につながると期待されています。

## 株式会社八雲ソフトウェアが和歌山県「企業の森」に参画



写真(左から)＝和歌山県岸本知事、株式会社八雲ソフトウェア代表取締役社長 松本隆義さん、中山町長

## 日本赤十字社業務功労表彰

12月7日(木)、和歌山城ホールにおいて、第34回(令和5年度)和歌山県赤十字奉仕団大会が開催されました。

大会において、日本赤十字社和歌山県支部長より、湊秀代さん(長田)、石田知予子さん(垣倉)に銀色有功章が、贈呈されました。



写真(左から)＝中山町長、有田川町吉備赤十字奉仕団員 湊秀代さん、有田川町吉備赤十字奉仕団員 石田知予子さん

## 「有田みかん」を子どもたちへ ありだ みかんを寄贈賜りました

11月21日(火)に「温州みかん贈呈式」が給食センターにて行われました。これは食育運動の推進に伴う「地産地消」活動の一環として、農業士会・4Hクラブ会員が丹精込めて作り上げた温州みかんを、将来の有田川町を担う子どもたちに農業への関心や、全国ブランドを誇る【有田みかん】に対する理解を深めていただくことを目的とし実施されています。寄贈いただいたみかんは町内の保育所、小・中学校の児童・生徒に届けられ、子どもたちからは「甘くておいしい!」と歓声があがりました。

